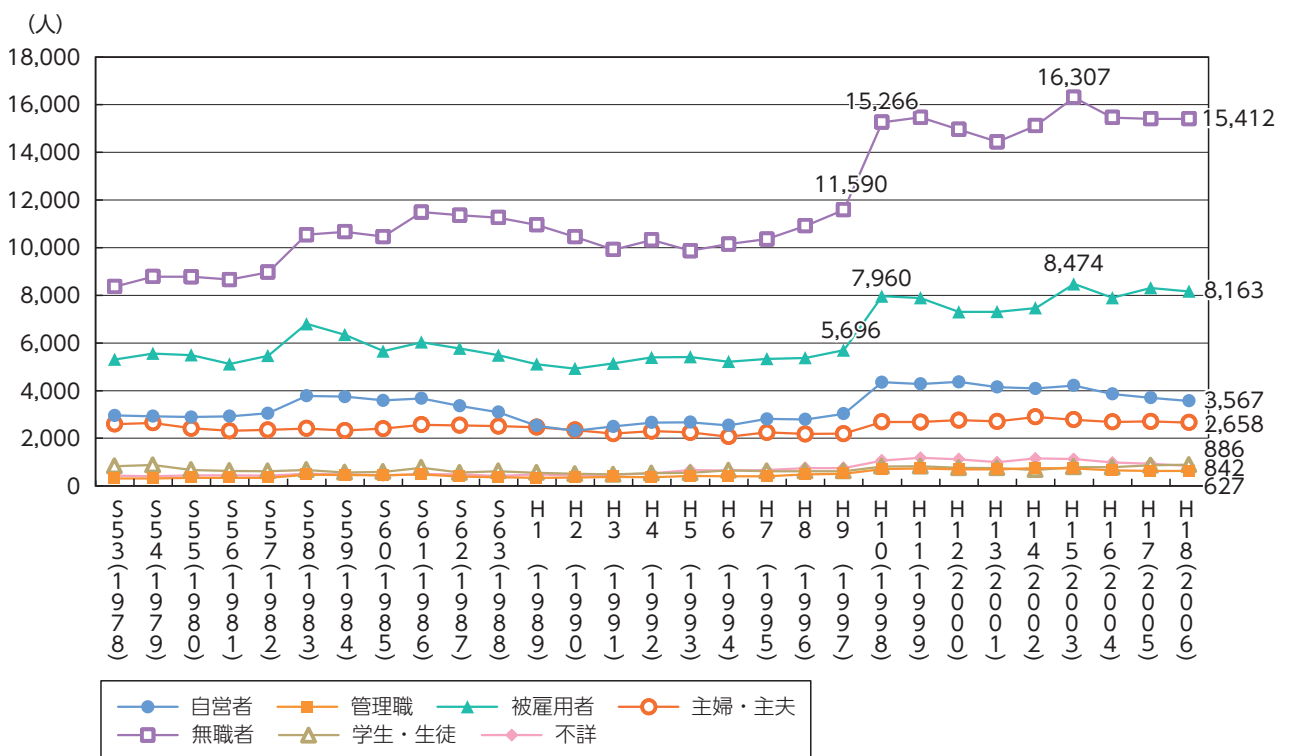


4 職業別の自殺者数の推移

- 職業別の自殺の状況については、自殺統計では平成19年の統計から自殺統計原票の改正により職業の分類が改められたことから、18年までの推移とその後の推移の単純比較はできないが、まず18年までの推移をみると、近年では、15年に「無職者」と「被雇用者」が一旦増加するが、「自営者」は減少傾向にある。
- また、平成19年以降の推移をみると、総数が減少傾向にある中で、「自営業・家族従業者」、「被雇用者・勤め人」及び「無職者」はおおむね減少傾向にあるが、「学生・生徒等」はおおむね横ばいである。

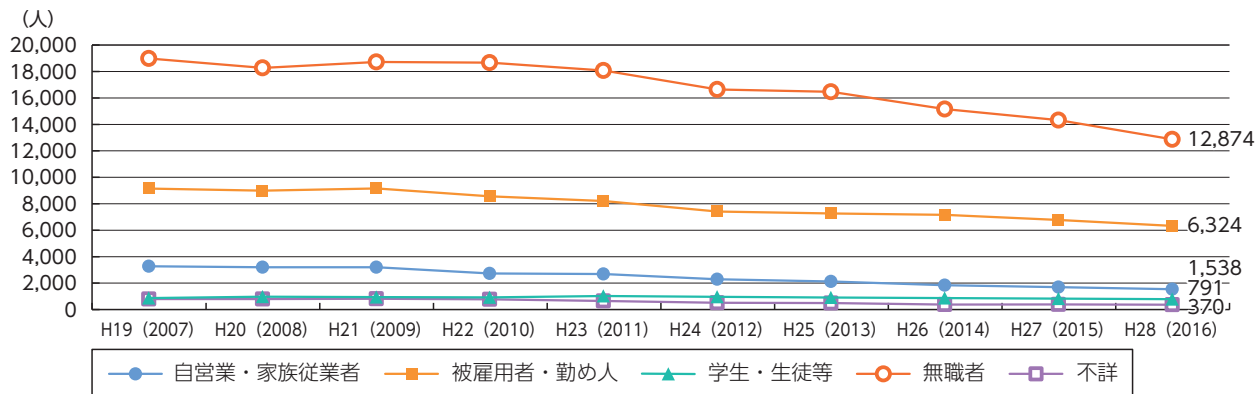
第1-11図 平成18年までの職業別の自殺者数の推移



※ 「主婦・主夫」については、平成11年までは主婦（女性）のみを計上している。

資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

第1-12図 平成19年から28年までの職業別の自殺者数の推移



無職者の内訳の推移

(単位：人)

	主婦	失業者	利子・配当・ 家賃等生活者	年金・雇用 保険等生活者	浮浪者	その他の 無職者
H19	2,583	1,756	55	4,982	86	9,528
H20	2,349	1,890	68	5,249	79	8,644
H21	2,294	2,341	58	6,028	64	7,937
H22	2,336	1,990	67	6,068	61	8,151
H23	2,372	1,830	83	6,019	45	7,725
H24	1,968	1,404	58	6,235	45	6,941
H25	1,914	1,217	79	6,551	31	6,673
H26	1,680	1,052	67	6,250	34	6,080
H27	1,498	962	57	6,267	30	5,508
H28	1,340	888	58	5,675	26	4,887

資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成